

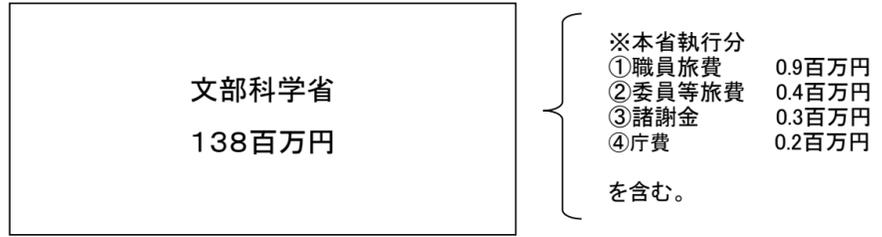
事業番号

2023 - 文科 - 新24 - 0003

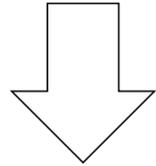
令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)						
事業名	高等専修学校における多様な学びを保障する先導的研究事業			担当部局庁	総合教育政策局	作成責任者		
事業開始年度	令和6年度	事業終了(予定)年度	令和8年度	担当課室	生涯学習推進課	生涯学習推進課長 石橋 晶		
会計区分	一般会計							
根拠法令 (具体的な 条項も記載)				関係する 計画、通知等	経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定) 新たな教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)			
政策	1 新しい時代に向けた教育政策の推進			主要経費	教育振興助成費			
施策	1-4 生涯を通じた学習機会の拡大							
政策体系・評価書URL								
事業の目的 (5行程度以内)	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校の職業教育機能を強化しつつ、社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行い、都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化や、高等専修学校の認知度向上を図る。							
現状・課題 (5行程度以内)	高等専修学校は、高等学校とは異なる柔軟性の高い制度特性を生かして、社会的・職業的自立に向けた実践的教育を行っており、卒業生の約4割が就職という進路を歩んでいる。「経済財政運営と改革の基本方針2023(令和5年6月16日閣議決定)」では、産業界と連携した職業教育の推進等について言及されており、社会に出る準備を行う後期中等教育における職業教育機関として、地元企業等の産業界との連携を一層促進していく必要がある。また、生徒のうち約2割は不登校経験がある等、不登校や発達障害等の特別の配慮が必要な生徒が一定割合在籍している一方で、高等専修学校の約半数は大学入学資格付与校となっており、大学進学への道も拓けている。こうした「学びのセーフティネット」としての機能を果たしているという側面も踏まえ、「新たな教育振興基本計画(令和5年6月16日閣議決定)」では、その運営にかかる支援について都道府県と連携しつつ推進していく旨、言及されているところである。他方で、高等専修学校の社会的な認知度は低く、教育振興基本計画において位置付けを明記している都道府県も多くはないことから、中学校等に対する今後の周知活動や都道府県と連携した更なる振興が必要である。							
事業概要 (5行程度以内)	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。							
事業概要URL								
実施方法	委託・請負							
補助率等								
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
		補正予算(B)	-	-	-	-	-	138
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
			-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-	138
		執行額(G)	-	-	-	-	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)			
	(項)	教育政策推進費			※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計額が一致しない場合がある。 要求額のうち「重要政策推進枠」:138百万円			
	(目)	教育政策推進事業委託費		136.2				
	(目)	職員旅費		0.9				
	(目)	委員等旅費		0.4				
	(目)	諸謝金		0.3				
	(目)	庁費		0.2				
(目)	その他	-	-					
	計(A)	-	138					

活動内容① (アクティビティ)	高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できるモデルカリキュラム等の開発とその普及啓発を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	各取組拠点における多様なモデルの開発	開発したモデル数	活動実績	件	-	-	-	-	-
			当初見込み	件	-	-	-	-	5
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) 地域ごとに存在する産業や高等専修学校の特性は様々であり、職業教育機能強化の在り方や、社会的・職業的自立に向けたアプローチ手法は多岐にわたることから、取組拠点を確保し、多様なモデル開発に取り組むことをアウトプットとした。 高等専修学校と都道府県、地域の企業等が連携体制を構築し、高等専修学校に求められる職業教育機能を強化しつつ、「学びのセーフティネット」としての役割も踏まえた社会的・職業的自立が実現できる多様なモデルカリキュラムの開発が実現できれば、価値を感じた全国の高等専修学校がモデルを活用し、各校の特性や課題に応じたカリキュラムの改変・充実が行われていくことが想定されることから、短期アウトカムとして「モデルの普及による全国の高等専修学校におけるカリキュラムの改変・充実」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 7 年度	
	モデルの普及による全国の高等専修学校におけるカリキュラムの改変・充実	各取組拠点で成果の普及・展開を行った団体数	成果実績	団体	-	-	-	-	
			目標値	団体	-	-	-	10	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省調べ(各取組拠点への聞き取り)								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) 改変・充実されたカリキュラムが全国の高等専修学校において実践され、高等専修学校の職業教育機能が強化され、「学びのセーフティネット」としての役割が一層増すことで、都道府県行政における高等専修学校の存在感や位置づけが見直され、都道府県行政とのさらなる連携が図られると考え、長期アウトカムとして「都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化」を設定した。								
成果目標及び成果実績①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 9 年度	
	都道府県行政における高等専修学校の位置づけの明確化	教育振興基本計画等において高等専修学校に関して記載している都道府県の数	成果実績	都道府県	-	-	-	-	
			目標値	都道府県	-	-	-	7	
			達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省調べ								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

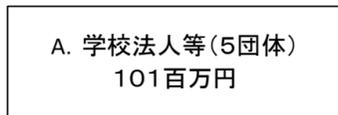
※執行実績がない新規要求事業のため、現時点での予定やイメージを記入。



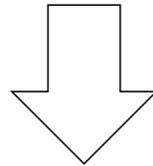
審査委員会を設置し、委託先の選定及び事業成果の評価等を行う。



委託【随意契約(企画競争)】



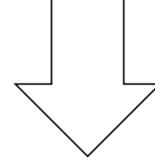
都道府県との連携による高等専修
学校機能強化の先導的モデル構



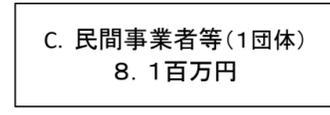
委託【随意契約(企画競争)】



高等専修学校における職
業教育実態調査



委託【随意契約(企画競争)】



成果の普及啓発に向けたフォーラ

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック